



**青森県感染症発生情報
(2025年第50週)**

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/eisei/infection-survey.html>

I 第50週の発生動向 (2025/12/8~2025/12/14)

- インフルエンザについては、すべての保健所管内で警報が継続しています。引き続き新型コロナウイルス感染症の予防も兼ねて、ワクチン接種を含めた基本的な感染対策の徹底をお願いします。
- 水痘については、三戸・八戸市保健所管内の注意報は解除となりました。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「マイコプラズマ肺炎」です。最終ページに掲載しています。

II 第50週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

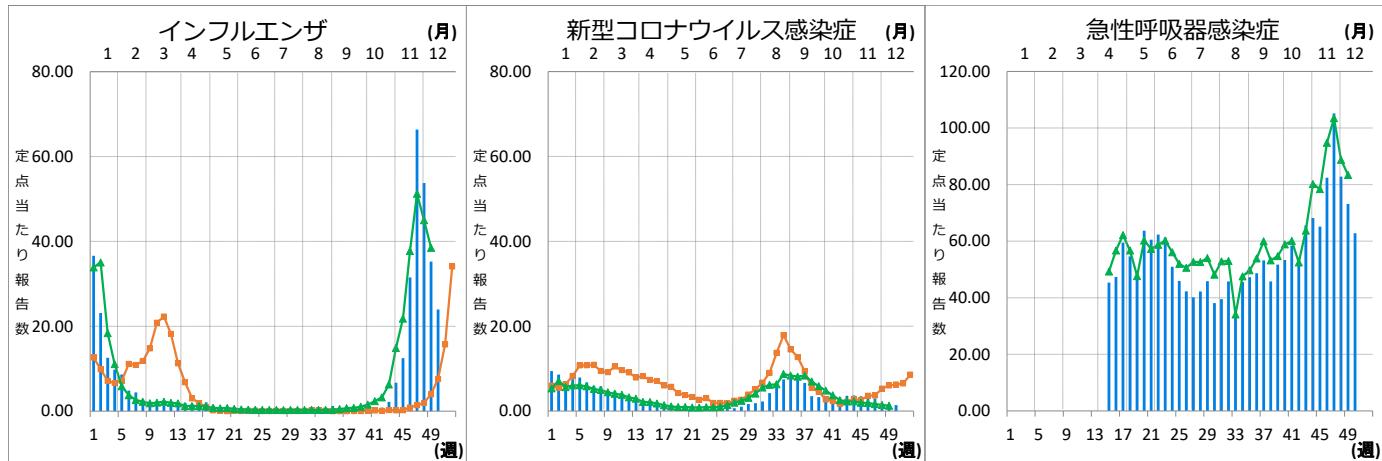
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	267	24.27	113	11.30	303	30.30	123	20.50	319	35.44	121	20.17	1246	23.96	-587
	新型コロナウイルス感染症	14	1.27	19	1.90	20	2.00	5	0.83	12	1.33	3	0.50	73	1.40	-9
	急性呼吸器感染症	912	82.91	449	44.90	513	51.30	300	50.00	713	79.22	377	62.83	3264	62.77	-540
小児科	RSウイルス感染症	1	0.17	5	0.83	3	0.43	5	1.00	3	0.50			17	0.50	2
	咽頭結膜熱	1	0.17	1	0.17	4	0.57	1	0.20					7	0.21	-2
	A群溶血性レツチ球菌咽頭炎	5	0.83	14	2.33	14	2.00	2	0.40	5	0.83	3	0.75	43	1.26	22
	感染性胃腸炎	10	1.67	11	1.83	24	3.43	20	4.00	1	0.17	1	0.25	67	1.97	0
	水痘	3	0.50	2	0.33	1	0.14	2	0.40	2	0.33	1	0.25	11	0.32	-6
	手足口病	1	0.17											1	0.03	-1
	伝染性紅斑			3	0.50	2	0.29	1	0.20	1	0.17			7	0.21	5
	突発性発しん	1	0.17	1	0.17	2	0.29							4	0.12	-2
眼科	ヘルパンギーナ	3	0.50	1	0.17									4	0.12	0
	流行性耳下腺炎					1	0.14							1	0.03	1
基幹	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-2
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00	1	1.00	2	2.00	3	3.00	7	1.17	1
	無菌性髄膜炎															0

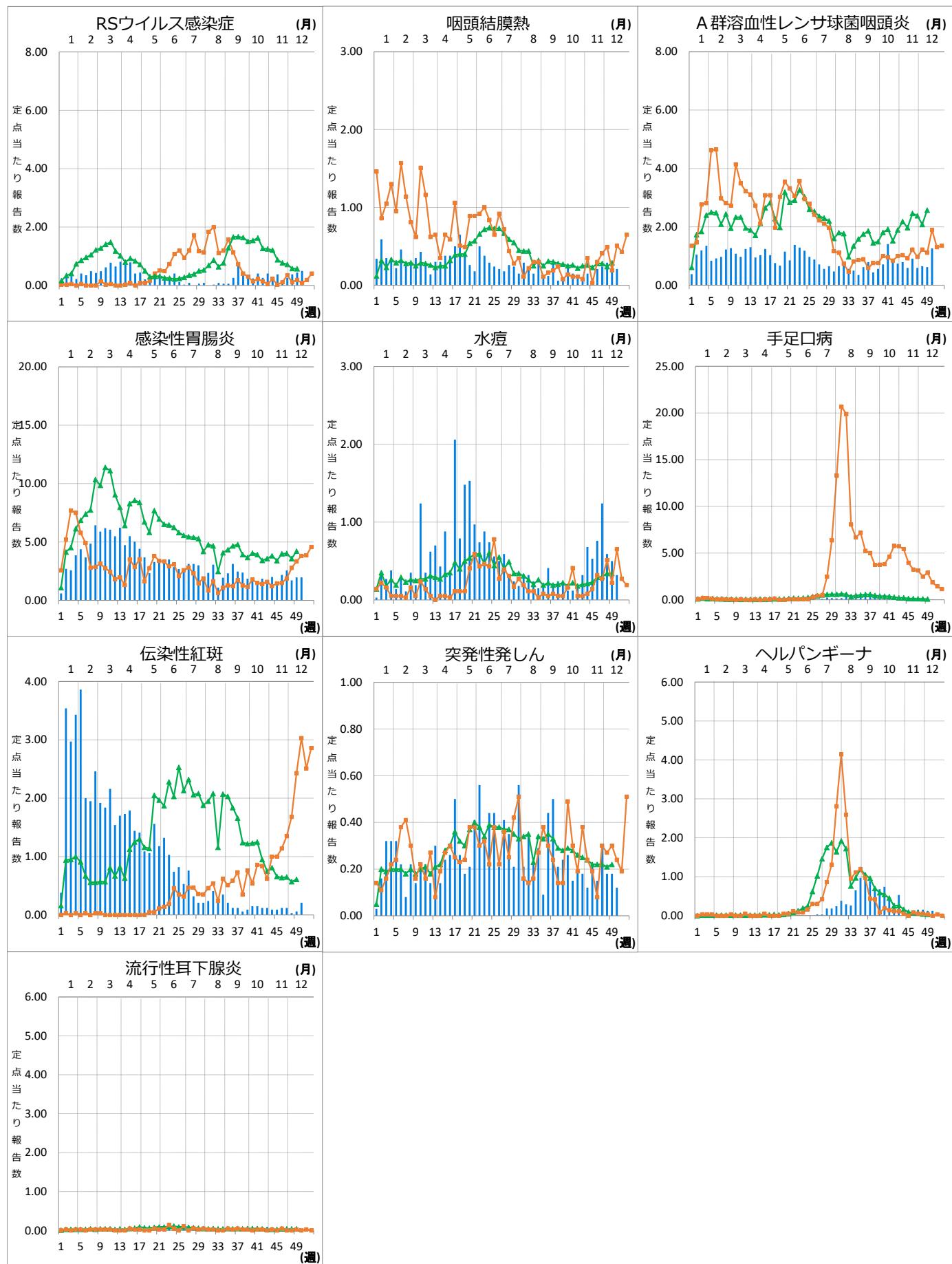
III 定点把握対象疾患週別推移（急性呼吸器感染症定点）(2025年第50週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ——————は2025年青森県、—————■は2024年青森県、▲————▲は2025年全国

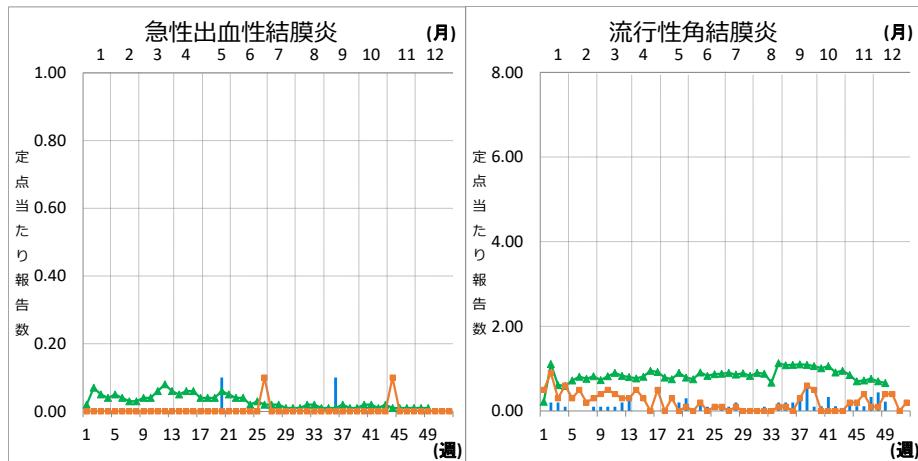


IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025年第50週、ただし全国は前週）

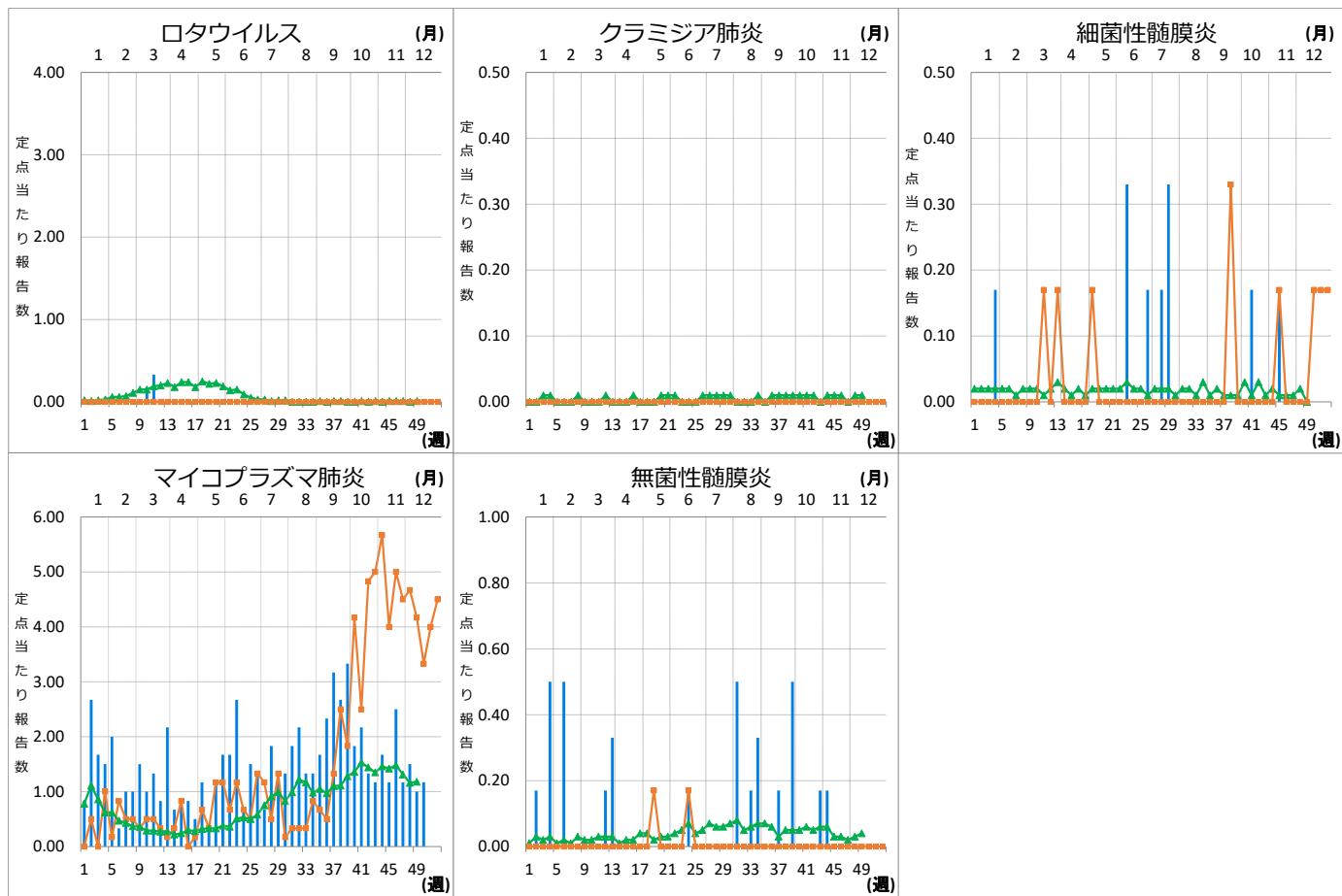
グラフの説明  は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025年第50週、ただし全国は前週）
グラフの説明—は2025年青森県、■—■は2024年青森県、▲—▲は2025年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025年第50週、ただし全国は前週）
グラフの説明—は2025年青森県、■—■は2024年青森県、▲—▲は2025年全国



VII 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分（2025年第43～50週）

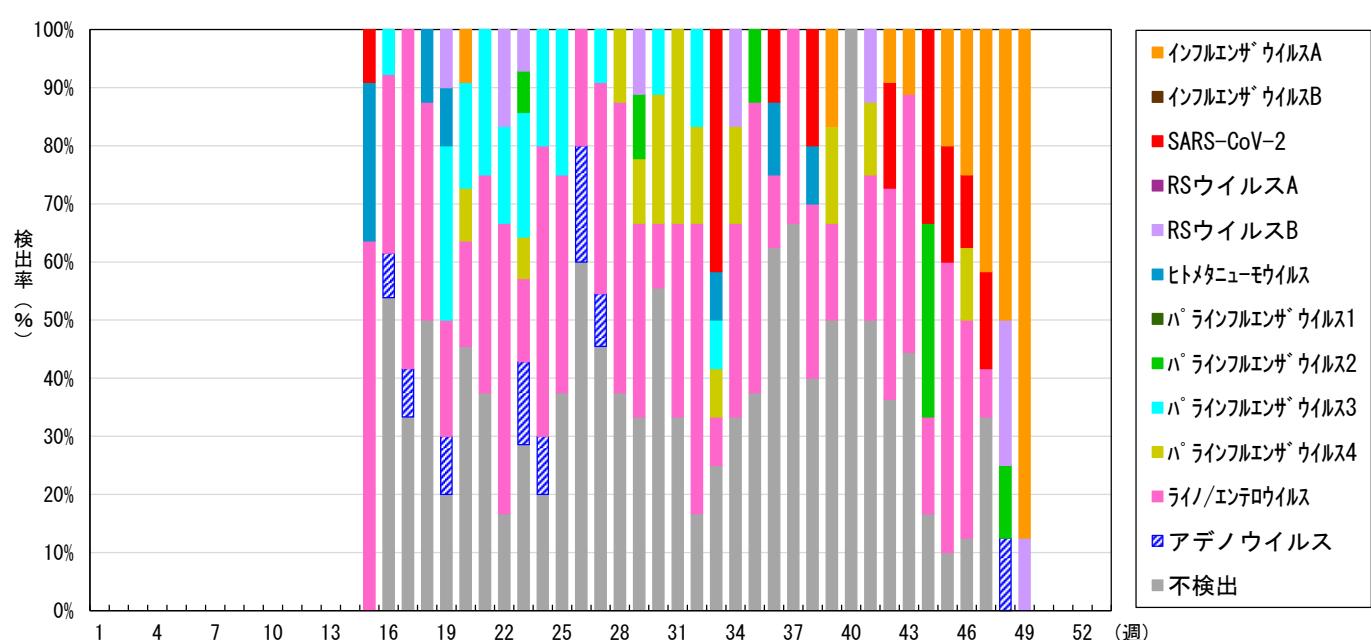
急性呼吸器感染症	2025年							
	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週
提出検体数	9	5	10	7	10	8	8	7
インフルエンザウイルスA	1	0	2	2	5	4	7	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	0	2	2	1	2	0	0	
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスB	0	0	0	0	0	2	1	
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	2	0	0	0	1	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	1	0	0	0	
ライノ／エンテロウイルス	4	1	5	3	1	0	0	
アデノウイルス	0	0	0	0	0	1	0	
不検出	4	1	1	1	4	0	0	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	7

※第44週に提出された検体のうち、ヒトパラインフルエンザウイルス2及びライノ／エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第46週に提出された検体のうち、ヒトパラインフルエンザウイルス4及びライノ／エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第47週に提出された検体のうち、インフルエンザウイルスA及びライノ／エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体、インフルエンザウイルスA及びSARS-CoV-2が重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移（2025年第15週～）



VIII 全数把握対象疾患発生状況（第 50 週）

- ・結核（二類感染症）：八戸市 1 人、西北 1 人、上北 1 人 (2025 年計： 110 人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）：青森市 1 人 (2025 年計： 38 人)
- ・百日咳（五類感染症）：中南 1 人、八戸市 1 人、下北 1 人 (2025 年計： 763 人)

IX 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 47 週～2025 年第 50 週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
47	梅毒2人 百日咳3人		結核1人 梅毒1人	レジオネラ症1人	破傷風1人 百日咳1人	
48	結核1人 レジオネラ症1人	結核1人 梅毒3人	結核1人 百日咳2人		梅毒1人	
49	結核2人 梅毒1人 百日咳1人	梅毒1人	レジオネラ症1人 梅毒2人 百日咳2人			百日咳1人
50	腸管出血性大腸菌感 染症1人	百日咳1人	結核1人 百日咳1人	結核1人	結核1人	百日咳1人

第 47 週に、破傷風の届出が上北保健所管内で 1 件ありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国

(2025年第1週～第49週までの累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	エムポックス
累積報告数	13357	4	55	4170	31	8	548	128	26	16
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チケンギニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱
累積報告数	11	6	6	1	190	2	21	191	160	670
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	日本脳炎	ブルセラ症	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎
累積報告数	3	1	1	22	18	1	2301	61	417	237
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスボリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症
累積報告数	1135	34	570	23	166	1293	806	33	616	75
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	ハンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシнетバクター感染症
累積報告数	3205	622	12826	163	90	82	87938	11	256	9

青森県

(2025年第1週～第50週までの累計)

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	110	38	1	17	1	1	14	1	9	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風	百日咳	
累積報告数	4	6	2	4	15	1	31	2	763	

XI 病原体検出情報

報告はありませんでした。

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025年第50週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第50週	報告なし		

2025年報告件数及び症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)		
		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49週	50週	51週	52週
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	35
	発症者数	74	228	136	128	25	50	22	13	0	0	0	0	0	0	676
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	発症者数	0	37	25	10	5	0	11	0	0	0	0	0	0	0	88
その他施設	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
計(月別)	件数	5	16	14	12	3	4	2	1	0	0	0	0	0	0	57
	発症者数	81	335	230	216	41	60	33	13	0	0	0	0	0	0	1009

感染症の窓

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマという細菌に感染することによって引き起こされる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。報告は、1年を通じてみられますですが、秋冬に増加する傾向があります（図）。

主な症状として、発熱、全身の倦怠感、頭痛、せきなどがみられます。せきは、熱が下がった後も長期にわたって（3～4週間）続くのが特徴です。肺炎マイコプラズマに感染した人の多くは気管支炎ですみ、軽い症状が続いますが、一部の人は肺炎となったり、重症化することもあります。また、5～10%未満の人が、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を併発するとの報告があるため、注意が必要です。

主な感染経路は、飛沫感染と接触感染です。予防には、流水と石けんによる手洗いが大切です。せきなどの症状がある場合は、マスクを着用するなど「咳エチケット」をこころがけましょう。

マイコプラズマ感染症は、抗菌薬で治療可能です。長引くせきなどの症状があるときは、医療機関を受診しましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。[マイコプラズマ肺炎（厚生労働省HP）](#)

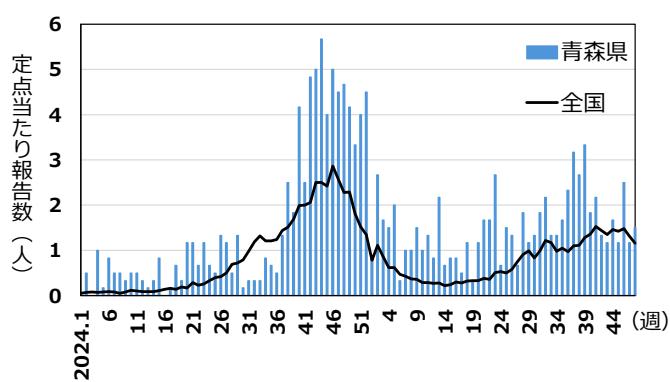


図 全国及び青森県におけるマイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数の推移
(2024年第1週～2025年第48週(速報値))

